

発言通告表（一般質問）

令和6年11月定例会

順位	氏名（議席）	発言の要旨
1	遠藤 盛正（22）	<p>1. 2025年問題とふじパワフル85計画の経過について</p> <p>これまでも、地域包括ケアシステム構築については、何度となく推進する必要性を求めてきました。ふじパワフル85計画Ⅶ期間内の令和7年（2025年）には、いよいよ団塊の世代が、75歳以上の後期高齢者となります。平成18年よりスタートしたふじパワフル85計画もその成果が検証される時に来ています。</p> <p>また、団塊ジュニア世代が65歳を迎える2040年までは、高齢化は高止まりとなり、複雑化、複合化した支援ニーズに対応できるよう、相談支援、参加支援など地域づくりに向けた支援を実施する取組を通じた重層的支援体制の構築が必要になってくるのは当然のことです。</p> <p>そこで、今回の質問は、これまで7期続いているふじパワフル85計画で目指した目標や具体的な施策を踏まえ、地域包括ケアシステムから見た着実な実行、改善ができたのか、社会情勢に沿った取組は計画どおりできたのか。</p> <p>以下、これまでの10年間で私から一般質問させていただいた代表的な質問について、質問いたします。</p> <p>(1) 居宅要介護者の在宅生活を支えるため、どのような施策を進めているか。</p> <p>(2) 在宅医療と在宅介護の連携は、どのように進んでいるか。</p> <p>(3) 介護予防は市民に周知できているか。</p> <p>(4) 地域包括ケアシステムの構築は進んでいるか。</p> <p>2. 新型コロナワクチン接種に係る予防接種健康被害救済制度について</p> <p>前回の9月定例会に、市民より、予防接種実施前の副反応についての詳しい説明と「予防接種健康被害救済制度」の周知強化を求める陳情が出されました。</p> <p>当局からの回答では、予防接種健康被害救済制度の審査については、国の疾病・障害認定審査会において随時審査が行われており、審査結果は厚生労働省のウェブサイトで公表されていて、「広報ふじ」に健康被害救済制度について記載しているとしていました。また、申請についても、分かりやすい申請書の書式や記載マニュアルをウェブサイト上に掲載してあるとしていました。</p> <p>しかし、実際に申請をする際には、申請書とは別にカルテや医療費等に係る領収書等の関係書類を本人が準備しなくてはなりません。陳情の中にも、泣き寝入りという表現がありましたが、こんなに複雑な手続では、途中で諦めてしまう気持ちも分かります。ワクチン接種希望の方には、インフォームド・コンセント、予防接種を受ける前に医師から使用するワクチンに関する効果や考えられる副反応及び健康被害が発生した場合の健康被害救済制度について説明し、本人の同意確認後、接種を行うと定められています。つまり、何かあっても自己責任ですからということです。</p> <p>現在、仮に国へ申請が出せても、結果が分かるまでに1年半ほどかかるそうで、申請書類の費用は自己負担です。泣き寝入りしているという話も、こんなにハードルが高くては理解できません。新型コロナワクチン接種後に身体に異変を感じても、後遺症に関する情報が市民に十分に伝わっていないのだ</p>

順位	氏名（議席）	発言の要旨
1	遠藤 盛正（22）	<p>から、後遺症を疑うこともできないという声も聞きます。接種後に不安を感じる方に向けたチラシの配布や、富士市独自の情報発信が必要と思いますがいかがでしょうか。そこで改めて、市の対応についてお伺いします。</p> <p>(1) 新型コロナワクチン接種に係る予防接種健康被害救済制度における富士市民の認定件数、否認件数、審査未了件数、進達件数の年齢層別の人数などはどのようになっているか。</p> <p>(2) ワクチン接種後の健康被害救済制度は市民へどのように周知しているか。</p> <p>(3) 申請書類等の自己負担額を市として補助することはできないか。</p> <p>3. 闇バイト強盗の低年齢化への教育委員会の対応について</p> <p>今年に入り、闇バイトというキーワードがニュース等で多く報じられています。闇バイトに関わった方のほとんどが20代の若者ですが、先日、関東圏から山口県まで移動した中学生が、強盗の準備をしていたことで逮捕されました。熊本県では、詐欺の受け子、出し子を募集したとして、16歳、18歳の若者が逮捕されました。闇バイトは、都心だけの犯罪ではなく、郊外、地方に拡大しています。</p> <p>このように、SNSを使った犯罪に関わる低年齢者が続出している中、マスコミは、一般住宅の窓ガラスを破って侵入する手口の防犯対策等を盛んに呼びかけていますが、私はそれ以前に、中高生が闇バイトに関わらないためにはどうしたらいいのかを教える必要があると思います。</p> <p>そこで、今回、静岡大学教育学部塩田研究室で出されている「闇バイトから身を守ろう」というチェックシートを利用することで、富士市の中高生に対して闇バイトの怖さを啓発することについて、脅されて抜け出せなくなる子供たちが出る前に、富士市教育委員会として取り組んでいただけるか伺います。</p>